

令和6年度愛媛から「体験の風をおこそう」運動推進事業 「体験フェスティバルin交流の家」

1 ねらい

多くの地域住民の参加を得て、地域づくりの一拠点として「国立大洲青少年交流の家」においてフェスティバルを開催する。様々な体験プログラムを通して体験活動の裾野を広げるとともに地域住民の交流を図ることを目的とする。

また、「体験の風をおこそう推進事業」として、子どもや保護者を対象に、自然体験や生活体験等に取り組む「子ども体験遊びリンピック」を同時開催する。



2 実施日

令和6年10月19日（土）10時00分～15時30分（入場は15時まで）

3 内容

展示コーナー 華道展・人権啓発パネルの展示・リサイクル製品等の展示・ボーイスカウト運動の展示・健康をテーマとした展示・資源循環優良モデル認定制度の紹介、展示
・自衛隊車両展示



体験コーナー ビニールプールカヌー・クライミング体験・放水体験・煙体験・パトカー乗車体験・茶道体験・流木クラフト作り・BMX体験・人KEN まもる犬の作成・ミニ凧作り・押し花しおりの作成・ロープワーク・簡易トイレの作り方と凝固剤実験・防災ぬりえ・保冷剤を消臭剤にリメイク・健康をテーマとした体験・シャカシャカキーホルダー作り・VR体験・制服試着体験・キックボクシング、ミット打ち体験・バードコール作り・ミニコンパス作り・昔の遊び・モルックなど



飲食コーナー 大洲コロッケの販売・農産物、加工品の販売・軽食・テイクアウト・和菓子の販売・パン、クッキーの販売等

子ども体験遊びリンピック (OZU 遊びリンピック) 紙ひこうき飛ばし



4 活動場所

国立大洲青少年交流の家

5 参加対象

未就学児～大人まで

(未就学児は保護者の同伴が必要)

6 参加者数

未就学児から大人まで 合計 1,539 名

7 活動内容

例年、かんぼラジオ体操広場等の屋外に多くの体験ブースを設置していたが、荒天予報であったため、屋内の研修室等に分散させた形で展開した。また、ホール等の屋内の広い場所で展示ブースを設置したことで、利用される方々が一つのエリアに集中することなく、ゆったりと体験できた。

かんぼラジオ体操広場では、ビニールプールカヌーや放水体験、煙体験、パトカー乗車体験などが行われた。午前中は曇りであったため、多くの親子が体験することができた。中でもカヌーは、ビニールプールを活用した安全な環境であったため、幼児を含む多くの子供が列をなして体験を待ち望んでいた様子が見られた。最初は緊張でこわばった表情も見られたが、その姿も一瞬でなくなり、笑顔で楽しんでいた。

その他、子ども体験遊びリンピック (OZU 遊びリンピック) として紙ひこうき飛ばし大会やクライミング体験、華道の展示、茶道体験等に加え、新規のブースとして BMX 体験やキックボクシング体験など多種多様な体験を楽しんでいただいた。

8 参加者の声

事業後アンケートの結果 (172名 ※未回答者含む)

*満足：90.7% *満足：8.1% *やや不満：0.0% *不満：0.0%

「初めてでしたが、とても楽しく毎週あって欲しいです。」 「大変おもしろいイベント。来年以降も続けて欲しい。」 「たくさんの人に楽しんでもらうためにいろんな準備をしていたのが分かった。」等の声を聞いた。